

# 学校長あいさつ

## 学びに向かう生徒と共に

沖縄県立本部高等学校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

このたび、沖縄県立本部高等学校第24代校長に就任いたしました仲地範禮(なかちのりかず)と申します。

本校は昭和42年4月7日に最初の入学式が行われ、私と同じ誕生から56年になる学校です。本校は普通高校ではありますが、進学・情報・スポーツ・福祉に対応したコースが設置されている一方、平成15年より中高一貫教育校として地元3中学校(本部中、上本部中、伊豆味中)と連携を図っております。その成果として進路決定率91%、個人競技(ウェイトリフティング等)系部活動の華々しい実績などが挙げられます。しかしながら、慢性的な定員割れ、部活動加入率の低下による団体競技系部活動の低迷など、学校としての課題もあり、中高一貫教育としての連携も充分とは言えない状況です。そこで本年度から抜本的な改革を行い、学校を変えていく所存です。

### 1つ目に「授業を変えます」

これまでの「黒板とチョーク」の授業を廃し、個別最適な学びと協働的な学びを行う事ができるよう授業スタイルの変革を図ります。そのために、動画教材やAIドリル等のICTの活用や総合的な探究・協働的な授業スタイル等を推進する予定です。

### 2つ目に「校則を見直します」

学校は学ぶことが基本です。生徒が快適に学ぶことを第一に考え、校則を0から見直していきます。これまでの服装等の規則や制服・スマホ利用等も含めて見直すことは、生徒に快適な学校環境を提供する事になるかもしれません。一方、生徒の側にお互いが快適になるための心構えや仕組みを考えてもらう事になるかもしれません。その点については生徒・職員と熟議を図っていくつもりです。

### 3つ目に「地域・地元中学校と連携します」

本来の中高連携一貫校の考え方を基本とし、地域及び地元中学校(特に本部中学校)との連携を深め、連携入試改革も進めながら地域に必要とされる本部高校を創りたいと考えます。

以上のことを実現することにより、全ての本部高校生が有意義な三年間を送り、進学・情報・スポーツ・福祉のいずれのコースに入学したとしても、希望する進路実現が図れる事を目指したいと考えております。そのためには、これまでご協力いただいた本部町教育委員会、本校 PTCA 及び本校後援会・同窓会のさらなる協力と、職員の協力及び働き方改革が必要です。また、生徒の皆さんには「学ぶ」「前を向く」事を念頭に、自律した個人を形成し、対話による協働で諸活動を盛り上げ、創造的な思考で諸課題を乗り越えて行く事を共に進めましょう。

新しい本部高校はもうすぐそこです。



本部町は古来、尚武の地である。そこでショウブに音の通う菖蒲の花と葉を以て本部の『本』を構成し、それを外枠とする。その中央に『高』を配置した。中央の花弁はペンを図案化し、『高』の下部の紋様は『本』の字の一部を構成している。これは、地下に根を張り、空高く高揚する学びへの祈りを表象したものである。

(昭和42年1月20日制定 図案・福地蔡勇 初代校長)

